

63. 地域の子ども達と共に川に親しむ環境教育活動

グループ名 環境ネット出石

代表者 雀部 真理（申請時の湊崎康雄の後任）

① 活動の目的

地域で環境をよくするために活動している団体が協力し合って、子ども達に自然体験の機会を提供している。最も深刻な「絶滅危惧種」である“川ガキ（川を遊び場とする逞しい子ども）”の再生を目指し、16年めになる。親子参加も多く、長年の活動の成果か、昨今は日常的に谷山川で遊ぶ親子を見かけるようになった。主力ボランティアの高齢化で継続が危ぶまれる中、後継者の養成にも力を入れたい。

② 活動概要

<準備段階>

6月2日（土）に実行委員会を立ち上げ。環境ネットの各加盟団体から1～2名ずつと、昨年度新たに募集した保護者ボランティアのうち1人が参加し、主なプログラム、広報等について協議。これを受けて案内チラシの作成、円山川漁協への河川使用申請、豊岡市教育委員会への後援申請などを行った。合わせて事前学習会も開催した。

（講師：兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 内藤和明准教授）

7月13日（金）の第2回実行委員会でさらに細部の詰めを行い、直前には川の中の草取りや川岸草刈りなどを行い、前日のいかだ作りや堰き止め準備などで当日に備えた。

<当日>

早朝より川の堰き止めや案内表示、歩み板の設置、テント立てなどを行い、8時半より受付開始、9時開会。

例年以上の酷暑で、熱中症対策には細心の対策（看護師ボランティア配置、例年以上のテント設置、塩タブレット配布など）を尽くして臨んだが、台風前の「絶好の曇り空」に恵まれた。

参加者数は、*幼児から小学生の参加者44人、保護者21人、スタッフ（中学生以上）49人、計114人。昨年よりは10人ほど少なく、掌握しやすい人数であった。

昨年に引き続き、小学生時代に毎年参加していた中学生1人、地元中学校のALT（英語指導助手）2人が、ボランティアとして参加してくれたこと、生態学を専門とする大学院生が指導してくれたことは、特筆すべき喜びであった。が、昨年初めて募集した保護者ボランティアへの応募は昨年と同一の2人のみであったことは少し淋しく感じた。

プログラムは、おおまかな年齢別の3グループに分かれ、①いかだ遊び ②川の生き物探し ③外来植物（クレソン・オオフサモ）駆除の3スポットを順に回る形で前半の約2時間を過ごし、それから全員上流に移動してマスつかみ（年齢別の2カ所を設定して放流）。ライオンズクラブのメンバーが毎年マス焼きを担当してくれ、ごみを減らす会のメンバーが作ってくれる野菜たっぷりスープと各自持参したおにぎりで、昼食交流会を楽しんだ。

閉会では、『環境ネットの歌』（『手のひらを太陽に』の出石バージョン）を歌い、地元の方からのカブトムシのプレゼントを受け取って散会した。

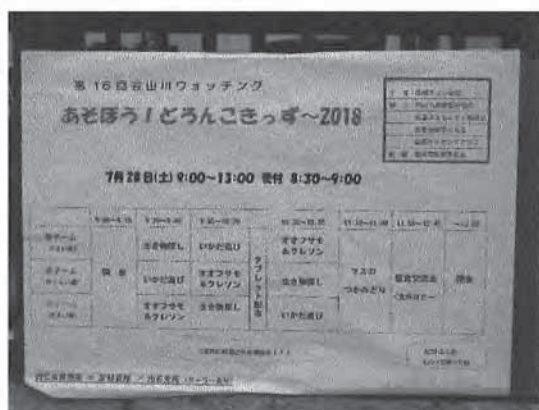


←出石の観光スポット「お竜灯籠」横で受付開始

↓川遊びを楽しんでね～と開会式



プログラム案内板↓



「黄色組はこっちで一す」
リーダーの誘導で各活動場所へ。



←本部テントで待機する看護師さんとスタッフ

スポット①いかだあそび



毎年一番人気のいかだ3種



幼児さんも自分で操縦

スポット②生きものさがし



網を持って生き物を探しに。見つけたものは名前を調べて、ボードに書きます。

スポット③外来生物オオフサモとクレソンの除去



みんな働き者！ 駆除したクレソン・オオフサモははかりで計ります。全部で500キロ超え！

最後は上流に上がってマスつかみ

上下2カ所に分けて堰き止めた川に
市内日高町産のマスを放し、つかみ取り、
取れたマスはバケツに入れて、マス焼き
会場に運びます。





全身ドボドボでマスを追う



料亭のマスターが焼いてくれる本物です

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
	参加費収入 @ 200×65	13,000円
支 出		
	谷山川ウォッチング諸経費のうち	
	・川堰き止め、いかだ作り等の資材費	23,000円
	・草刈り燃料 (刈払い機500×4人)	2,000円
	・マス代 (250匹)	38,432円
	・指導者謝金 (元小学校教師2名、元中学校教師1名 大学院生1名)	20,000円
	・事前学習講師謝金	5,000円
	・印刷費 (家庭用プリンタ用紙代+インク代 4580) (会議用コピー代 10×8×15人=1200)	5,780円
	・食材費 (米、野菜、だし、ラップ等)	6,773円
	・運搬謝礼、マス受け取りガソリン代 軽トラ2000×4台、遠方ガソリン代1000 いかだ資材運搬トラック 2000	11,000円
	・行事保険 (あいおいニッセイ同和損保 熱中症付き傷 害保険)	2,550円
	合 計	114,535円

※指導者謝金対象者

- ・大槻 秀治 元豊岡市立小学校教諭、NPO 法人コウノトリ市民研究所主任研究員
- ・川見 章夫 元豊岡市立小学校教諭、弘道コミュニティ環境部長
- ・山崎 喜彦 元豊岡市立中学校教諭、出石中学在職時の生物クラブ指導教諭
- ・泉山 真寛 兵庫県立大学大学院生、生態学 (川の生きもの) 専攻